

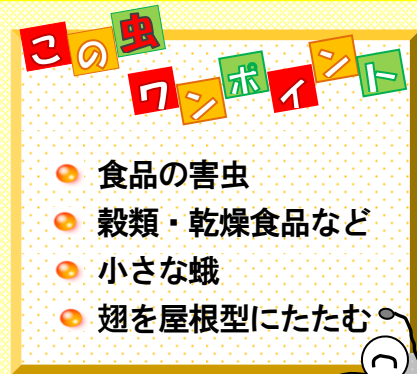
ノシメマダラメイガ

室内をチラチラ飛び回る翅の細長い小さな蛾です。穀類や乾燥貯蔵食品を食害します。

拡大写真提供：
川崎市
衛生研究所



台所で発生したノシメマダラメイガ（宮前区宮前平・8月）



形態

- 成虫は体長約 8 ミリ、翅を開いても 15 mm 程度の小さな蛾です。
- 翅を屋根型にたたんで止まり、翅が灰褐色と赤褐色の 2 色に分かれて見えます。
- 幼虫は体長約 10 mm。ずんぐりした円筒形で、頭部が黄褐色で、体は淡黄褐色。
- 卵は白色で 0.5 mm と非常に小さいです。

生態

- 成虫の寿命は 1 週間程度で、この間は食べ物を食べず、交尾して 200 個前後の卵を産みます。
- 卵からかえった幼虫は、米・小麦などの穀類、クッキー・チョコレートなどの菓子類、乾燥果実、乾麺、ココア、豆類など、多くの食品を食害します。
- 未開封の食品の包装には、成虫が侵入できるほどの隙間はないが、周辺に産みつけられた卵からかえった幼虫が、包装を食い破って侵入し、中で成長することも多いです。
- 幼虫は白い小麦粉など、どんなエサを食べても暗赤色の粒々の糞をするので、比較的よく目立ちます。
- 通常、年 3~4 回発生し、幼虫で越冬します。

駆除するには

- 食害跡や脱皮殻、糞などを手がかりに、発生源となった食品を見つけ出し処分します。
- 成虫は捕獲するか、スプレー式殺虫剤を噴霧します。
- 大発生している場合は、くん煙剤で駆除します。

発生を予防するには

- 食品類は長期間貯蔵せず、必要分を購入するよう心がけます。
- 長期保存する食品は、密閉容器に入れ保管します。
- 床や棚などにこぼれた食品クズはていねいに清掃します。
- 米びつの周辺に米粉やヌカが溜まらないよう清掃します。

